

様式例第3号

第2期朝来市創生総合戦略(素案)に関するパブリックコメントの結果		
意見等の募集期間	令和元年12月23日（月）～令和2年1月17日（金）	
意見等の受付件数	3人（10件）	
提出方法の内訳	郵便 1人 電子メール 2人	ファクシミリ 1人 持参 1人
実施機関(担当課等)コメント		
<p>第2期朝来市創生総合戦略は、「第1章 人口の目標」「第2章 戦略」「第3章 アクションプラン」から成り立っており、パブリックコメントの実施は戦略の目標や基本的な方向を記した第2章です。</p> <p>今回のパブリックコメントで市民の皆様からいただきました意見の視点の多くは、市民の皆様とともに戦略策定に向けて開催してきた「あさご未来会議」での意見をもとに作成した第3章の内容や考え方に合致しており、市民の皆様との対話と協働の重要性を改めて認識しました。今後の戦略の推進にあたっては、戦略に記載しているとおり、対話と協働を大切にしながら進めていく予定です。</p>		
提出された意見等の概要 (類似する意見については、取りまとめて掲載しています。)		
番号	意見等	市の考え方 (修正がある場合は、その内容)
1	<p>(1) 昨年、開催された未来会議において、市長から未来会議の内容を市総合戦略に反映していくとの発言がありました。第2期市総合戦略の中に未来会議の文言は見当たりませんが、来年度以降も未来会議が予定されていることから未来会議で出された意見を反映していただきたく思います。</p>	<p>第2期朝来市創生総合戦略は、朝来市のまちづくりの最上位計画である第2次朝来市総合計画に基づき、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目標にした戦略です。その戦略の策定に当たっては、第2次朝来市総合計画の基本理念「創造」「絆力」「自律」のもと、令和元年7月から5回にわたり開催しましたあさご未来会議で市民の皆様からいただきましたご意見などを反映しています。</p> <p>戦略の基本的な方向などについては、あさご未来会議でいただきましたご意見をもとに、今後の朝来市づくりにおいて大切にしていきたい価値観や考え方などまとめております。</p> <p>また、戦略を実践していくためのアクションプランにおいてもあさご未来会議でいただきました具体的な取組内容を目標と照らし合わせながら整理し、反映しております。</p> <p>しかしながら、事業実施に当たっては事業目的を明確にしながらも柔軟な取組が必要になってくることから、表記方法については抽象的な表現になっています。</p> <p>また、あさご未来会議のような対話の場を重ねながら、戦略の推進や朝来市のまちづくりを進めていくことが今後も重要であるという認識を持っており、第2期朝来市創生総合戦略においては、「基本理念」や「推進体制」において「あさご未来会議」という具体名称を掲げた表記はしていませんが「対話の場を持つ」ことを記載しています。</p> <p>今後も、引き続き、多様な対話の場への参画をよろしく願います。</p>

<p>(2) 7ページに地域自治協議会の役割や意義を再確認するとの記載がありましたが、昨年開催された未来会議の中でも地域自治協議会についてよく分からないという意見を沢山耳にしました。ついては機会ある毎に同協議会の役割や意義を周知していただきたく思います。また、現在、地区で同協議会の委員を推薦されるようになっていますが、もっとオープンに参加出来るようにすべきではないかと思えます。</p>	<p>朝来市では、地域自治協議会を地域協働の基盤として位置づけ、市民自治のまちづくりをすすめており、今後も朝来市のまちづくりにおいて大切であるという認識を持っています。このことは、あさご未来会議においても確認されたところである一方で、ご意見をいただいていますとおり、市民の皆様への周知不足などにより、役割や意義がまだまだ伝わっていないという課題を抱えていることもあさご未来会議の中で再確認したところです。</p> <p>したがって、地域自治協議会が地域協働の基盤として地域主体のまちづくりが推進できるように、市民の皆様への周知を含め、主体的な取組につながるように「第3章 アクションプラン」に記載しています。</p> <p>また、地域自治協議会は、地域住民なら誰でも希望に応じて運営に参加できたり、民主的に運営したりすることが自治基本条例においても明記されています。</p> <p>あさご未来会議でいただきました意見を真摯に受け止め、原点に立ち返り、戦略及びアクションプランに沿って、地域自治協議会を基盤とした市民主体の多様な活動が促進されるよう、推進していきたいと考えています。</p>
<p>2 (1) (5)結果重視 について 一行目の「PDCAサイクル」について注釈は必要ではないでしょうか</p>	<p>ご意見いただきました通り、「PDCAサイクル」についての注釈を入れるようにします。</p>
<p>(2) (5)結果重視 について 「いつorどの時点で」「誰が」「どの様に」 検証されるのか、少しでも良いので加筆いただければ丁寧に感じます。また、「数値目標」や「客観的な指標」は市民に、いつ、周知されるのでしょうか</p>	<p>戦略の見直し等については、朝来市創生会議で効果検証等を行う中で必要に応じて協議をします。そのことについては、「2 推進体制」のところに記載しております。</p> <p>また、評価指標 (KPI) については、「第3章 アクションプラン」に記載しており、戦略が策定され次第、市ウェブサイト等で公開予定です。</p>
<p>(3) &lt;朝来市の人口目標&gt; について 納税額や、公共交通・施設を含んだあらゆる公共性から導かれた適正数字だと思われ ますが、なぜ、2万人なのか知りたいです。 文中・欄外問いませんので、ご説明いただければ納得しやすくなります。</p>	<p>人口目標は、第2次朝来市総合計画後期基本計画（計画期間：平成30年度～令和3年度）で定めた人口目標を使用しており、その考え方については、「第1章 人口の目標」で記載しています。</p>

<p>(4) 連携の強化 について 11ある「自治協議会」も、活動量や質でかなりの温度差があるように思われます。連携を謳う市側もそれにお気づきだと思います。その底上げを図るための策を講じる必要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>朝来市における地域自治協議会は、地域協働の基盤でもあり、市民主体の多様なまちづくりを進めていくうえでとても大切な役割を担っています。市民主体の多様な活動が育まれるよう、多様な対話の場づくりや必要に応じた伴走型支援などをしていく必要があると感じており、「第3章 アクションプラン」に記載しています。今後は、アクションプランに沿って取組を進めていく予定です。</p>
<p>(5) 連携の強化 について 安心・安全な「まちづくり」のためにも「防災・減災」に備える「まちづくり」は欠かせないように思うのですが、いかがでしょうか</p>	<p>安心・安全なまちづくりの推進においては、「防災・減災」に備えた取組も必要不可欠であると考えており、「基本目標3」では、防災なども意識しながら、地域コミュニティの充実や誰もが地域社会とつながりを持つことを記載しています。</p> <p>しかしながら、第2期創生総合戦略は、人口目標を踏まえたひと・しごと・まちの好循環を目指した戦略であるため、全ての分野を網羅できない戦略です。したがって「防災・減災」の取組の全般については、朝来市地域防災計画に基づき推進しているほか、地区防災計画づくりを各区で進めていただいています。また、令和2年度から策定作業を進める「第3次朝来市総合計画」（計画期間：令和4年度～11年度）等の他の計画において、現状を踏まえながら総合的な観点から具体的に検討していく予定です。</p>
<p>(6) 推進体制 (2) 朝来市創生会議について 私の勉強不足だと思い恐縮ですが「市民代表から構成される朝来市創生会議」の設置を存じませんでした。このリーフレットが「朝来市民」へ説明する物であるならば、どのような方々が代表となり、今後も継続されるのか、加筆いただければと思います</p>	<p>市内の各分野機関の方、有識者等で構成する「朝来市創生会議」は、戦略の施策の検討、効果の検証等を行うことを目的として設置要綱に基づき設置し、年に数回開催しています。現在設置している「朝来市創生会議」の要綱期間は第1期戦略期間までであり、第2期においても新たに設置要綱を整備し、「朝来市創生会議」を設置する予定です。創生会議の構成者については、これからのことなので戦略そのものには詳細記載はできませんが、戦略を推進するにあたり、多様な視点から施策の検討、効果の検証等ができるように、戦略の目標に応じた多様な機関による構成にしていく予定です。また、市民の皆様へ委員の公募も行っていく予定です。</p> <p>また、戦略について市民の皆様にご理解いただき、市民の皆様とともに推進していくために、戦略の考え方を分かりやすくまとめた「第2期朝来市創生総合戦略考え方ガイド(仮称)」を別途作成する予定です。</p>

3	<p>(1) 朝来市の将来を考えた持続可能な計画、指針として課題が整理されており、わかりやすい戦略としてまとめられているなあというのが感想です。関係各位は大変であったろうなと思います。戦略、指針は明確です。後はこの内容を市民と共有し、どのような政策的な肉付けをするのかという最も難しい具体的な処方とタイムテーブルの提示をお願いします。</p>	<p>戦略を推進するに当たって、それぞれの目標に沿った取組内容については、「第3章 アクションプラン」に記載しています。</p> <p>また、評価指標（KPI）を毎年度把握することで進捗管理を行うほか、朝来市創生会議での施策の効果の検証に基づき、計画期間である令和6年度までに目標の達成ができるよう努めてまいります。</p>
	<p>(2) 安心して暮らせるまちづくりに防災・減災等の災害対策と農地維持の視点を入れる必要があると思います。</p>	<p>防災・減災等の災害対策の取組については、前頁の2－（5）に記載した通りです。</p> <p>農地維持の取組については、耕作放棄地が増加しつつある中で、大切な視点であると認識しており、多面的な取組が必要です。戦略では、その課題を意識しながら記載しており、農業の担い手の確保・育成や農業所得の向上などについての具体的な取組については「第3章 アクションプラン」に記載しています。今後は、戦略に基づきながら事業の推進を図ります。</p>